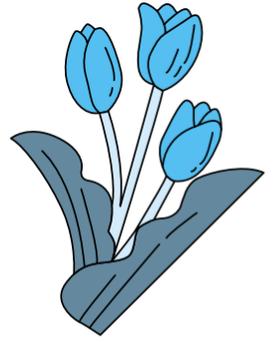


# 一般質問 市政に望む



今回の定例会では、3月6日、7日、10日、11日の4日間にわたり、24名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案をまじえながら、市長などの考えをただしました。  
質問、答弁の要旨は次のとおりです。

## 市民協働と政策 反映の考え方

**河辺康太郎(民主党・市民ネット)**  
市民の声をどのように政策へ反映していくのか。  
**岩崎副市長** 市民協働による検討結果の提案についてはできる限り政策に反映していくべきだと考えています。  
**町田副市長** 多摩境駅交差点付近の拡幅工事を実施し、沿線の大型店に、駐車場への入庫レーンの設置をお願いしました。また、多摩境駅入口交差点から三車線とする整備を進め、警視庁に信号の連動した制御の早期実施について引き続き要請を行います。

## 災害時要援護者 支援対策を急げ

**あさみ美子(公明党)**  
要援護者リスト・マップ・マニュアル作成等の進捗状況と地域への課題を問う。  
**岩崎副市長** 障がい者、高齢者対象のリストを作成し、マニュアルも作成しました。マップ作成は、今後の課題と認識しています。地域への課題は、リストの管理、取り扱い等に関して、町内会・自治会との協定の締結等個人情報保護の徹底を図るため、町内会・自治会、自主防災組織等とも協議を進め検討したい。  
**健康福祉部長** 成年後見推定機関設置に向け、準備を進めています。貢献型の後見人育成は、身近なところでいう話もあり、センターが機能を十分発揮させる意味からも必要なことと認識しています。

## 地域防災力の 底上げを図る

**中山勝子(自由民主党)**  
災害時に即戦力となるよう、スキルアップやネットワーク化を図る考えを問う。  
**防災対策担当参事** 災害時支援ボランティア制度がより一層充実するよう、訓練機会を提供するとともに、加入促進等PRし、避難所関係者連絡会を今後進めていきたい。  
**成瀬台から町田駅ルート**のバスは南大谷ガード付近のすれ違いができず、渋滞の原因ともなっている。三・四・三三四号線の進捗状況は、建設部長 小田急電鉄とは具体的な工法も含め今後協議する必要があると見ます。東京都建設局河川部とは、計画変更を含め調整を図る必要が出てくるということで、打ち合わせを始めたところです。  
**公教育の充実に向けて指導主事を増員する考えは、教育長** 平成二〇年度に、もう一名要望しています。

## 石坂改革はどこまで進んだか

**渋谷武己(まちなし新世紀)**  
市長の考える行政経営改革はどこまで進んだか、何が改革のキーワードか。  
**市長** 土台の部分くらいはできたということです。今年度、各課長の年度目標をセッティングしました。目標を共有し、そのために仕事をするという事を通じて職員の意識は変わっていくだろうと思います。  
**中期経営計画から欠落した事業への取り組みを、ど**  
**市長** 計画外の事業実行はなかなか大変ですが、もう少し頑張つて考えていきます。  
**北部丘陵の活用をどの**  
ように考えるのか、町田の原風景を取り戻す、タッシュ村のような取り組みは。  
**市長** 体験型のレクリエーション、農業としての土地利用で土地を保全する、この二本立てでやるというのが基本の路線だろうと思います。

## 公共施設の市民 利用について

**伊藤泰人民(民主党・市民ネット)**  
昨年一月三日開催された「障がい者スポーツ大会」でフットサルチームの関係者が障がい者に対し差別的な行為があったと聞いた。町田市はこの件に対してどのように対応したのか。  
**岩崎副市長** 関係者を呼び私が事情を聞ききました。多くの事業者がかわり、注意が行き届かなかった面がある。不快な思いをさせたことは本意ではなく、今後十分気を付けたいとのことでありました。  
**青少年健全育成団体に**  
体育施設や市民ホールを利用できる機会をふやせないか。  
**生涯学習部長** 今後子どもがスポーツに親しめるよう施設の充実に努めていきます。  
**生活文化担当部長** 理事会あるいは評議員会で承認された事業であれば、一年前から予約を取っていくというようなことで運用しています。

## 団地再生に ついで

**山下哲也(公明党)**  
団地再生への市の立場と今後の取り組みを問う。  
**町田副市長** 団地再生は、市が取り組むべき住宅政策を展開する上でも大変重要な課題であると認識しており、団地再生の方向性といったものについて、今後とも都市再生機構や東京都の住宅供給公社と連携を図っていききたい。今後の取り組みとしては、住宅マスタープランの改定、見直しの中で団地の現状分析に取り組み、団地再生についての総合的な方策等を研究していきたい。  
**市民協働の推進について、庁内における取り組みは、岩崎副市長** 現在市民活動団体とのかわりに関係する基本指針を策定しているところです。その中で、職員や有識者の人と話し合い、もう一度議論をし直していきたいと思

## どこまで進んだ 特別支援教育!

**吉村こずえ(民主党・市民ネット)**  
コーディネーターは担任と保護者をサポートする重要な役割、全保護者に周知すべき。専任を配置できないか。  
**学校教育部長** コーディネーターの周知ですが、今後各学校に働きかけていきたいと思ひます。専門のコーディネーターの配置につきましては国や都の動向を見守っていききたいと思ひます。  
**常時、各学校に指導員**  
と小教室を設けることが必要だが、介助員制度を進展させて再構築してはどうか。  
**学校教育部長** 特別支援教育にかかわっている人材をさまざまな形で活用していくことは大切なことだと思ひます。  
**中学に発達障がいの子**  
定級を望む声が多いがどうか。  
**学校教育部長** 固定の情緒障がい学級の設置は生徒の増加状況を見ながら、実態を見て判断していききたい。

## 障害者自立支援 法は見直しを

**細野龍子(日本共産党)**  
三〇人学級実施を市長先頭に都に求めるべきだが、どうか。  
**学校教育部長** 引き続き三〇人学級の実施について国や都の責任により行うよう求めていきたいと考えています。  
**重度の障がい者の通所**  
を保障するために、人件費補助など支援を拡充すべき。  
**健康福祉部長** 国の緊急措置として、平成二〇年七月か



団地の建てかえ工事(山崎団地)